

令和 2 年 度

事 業 報 告 書



一般財団法人 石川県予防医学協会

## 目 次

### 一般財団法人石川県予防医学協会定款概要 (第1章総則抜粋)

はじめに	1		
1 令和2年度事業実施概要	3	6 環境検査	14
2 職域保健	5	(1) 食品検査	15
(1) 総合健康診断・定期健康診断	5	(2) 水質検査	16
(2) がん検診	6	(3) 簡易専用水道検査	16
(3) 特殊健康診断	6	(4) 作業環境測定	16
(4) 人間ドック	6	(5) 計量証明事業	17
(5) 健康支援	6	7 総務事項	18
(6) ストレスチェック	6	(1) 理事会開催状況	18
3 地域保健	7	(2) 評議員会開催状況	18
(1) 健康診査	7	8 啓発活動報告	19
(2) がん検診	7	9 学会発表状況	19
4 学校保健	8	10 会議・研修実施状況	19
(1) 尿検査	8		
(2) 心臓検診	10		
(3) 貧血検査	11		
(4) 寄生虫検査	11		
5 医学検査	12		

## 一般財団法人石川県予防医学協会定款概要（第1章総則抜粋）

### 《名称》

一般財団法人 石川県予防医学協会

### 《設立》

1952年（昭和27年）10月 8日

### 《一般財団法人移行》

2013年（平成25年） 4月 1日

### 《住所》

金沢市神野町東115番地

### 《目的》

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の発展に寄与することを目的とします。

### 《事業》

当協会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 予防医学に関する各種健康診断、診療及び検査事業
- (2) 公衆衛生に関する普及啓発及び助成事業
- (3) 公衆衛生に関する調査研究事業
- (4) 生活環境の保全に関する必要な調査研究事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

# 令和 2 年度 事業報告書

一般財団法人 石川県予防医学協会  
理事長 松崎 充意

## 《はじめに》

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスの被害はさらに拡大しており、この5月末時点での累計感染者数は1億7,000万人、死者数は354万人を超えており、現在第4波が到来している日本でも感染者数は約74万人、死者数も約1万3,000人（WHO ホームページより）となっています。3月の事業計画書にて掲載した人数（3月7日 WHO ホームページより）は感染者数約43万人、死者数約8,100人と比べても、この3ヶ月余りで急激に感染が拡大していることが見て取れます。このような未曾有の事態を開く切り札はワクチン接種であり、日本を含め、世界の国々からは1日でも早いワクチンの普及が望まれています。

当協会の令和2年度の事業でも新型コロナウイルスの影響を多々受けました。昨年4月14日～5月24日の間は石川県独自の緊急事態宣言に基づき、主な事業である健診・人間ドックを休止いたしました。再開後は、3密を避け、感染防止対策を徹底し、且つお客様に対して健診受診の機会を確保するため、職域健診では予約制の推進、健診時間の延長や土曜午後の施設健診の実施、人間ドックでは2部制を実施するなど役職員一丸となって努力いたしました。しかしながら、お客様のご都合や地域健診の一部中止や個別健診への集約などもあり、残念ながら健診・人間ドックの総受診人数は昨年度を下回ることになりました。

なお、コロナ禍ではありますが、協会全体として成長や進化できたことも沢山ありました。一つはスピード感を持って情報の共有、判断、行動ができたこと。二つ目は、県からの補助もいただき、新型コロナウイルス PCR 検査機器・検査室の整備、そして発熱外来としても活用できる特別診察室の新設ができ、県内の感染拡大防止に尽力できたこと。三つ目に以前から準備していた尿検査機器法など様々な省力化・効率化が実を結び、それがコロナ禍での迅速な対応に繋がったことが挙げられます。

引き続き新型コロナウイルスとの闘いは続くと思われませんが、コロナ禍の早期収束に向け、令和3年度も役職員全員でワクチン接種、PCR 検査を重点計画とした予防医学事業を推進し、県民の皆さまの「健康・安全・安心」に貢献できるよう全力を尽くしてまいります。

以下、令和2年度展開しました事業を概括いたします。

## ＜基本理念＞

「すべては お客様のために 社会貢献のために 職員と家族のために」

## ＜行動指針＞

1. 思いやりの心
  - ・何事にも思いやりの心を持って取り組みます。
1. チャレンジ精神
  - ・創造力を持ち、失敗を恐れず挑戦し続けます。
1. 精度管理の徹底
  - ・「精度管理」を最優先とし、正確な健診、検査を実施いたします。
1. コンプライアンス（法令・規則の遵守）
  - ・関係法令、自主規準を必ず遵守します。
1. 継続的改善
  - ・高品質のサービスを提供するため、継続的な改善に努めます。

## 1. 人材育成

- ・自らの役割に責任を持ち、高度な専門性を身に付け、情熱的に行動する人材の育成を推進します。

## 1. 楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり

- ・基本理念実現に向けて、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりはとても大切です。役職員一人ひとりが主体的に行動し、全員で力を合わせてより良い職場をつくりまします。

### <令和2年度スローガン>

「未来に向かって 笑顔！ 団結力！ スピード感！」

### 《事業報告概要》

#### <事業部門>

1. 新型コロナウイルス関連事業として、感染拡大防止の一助となるべく令和2年8月から予防医学クリニックにて外注でのPCR検査を開始し、10月には当協会臨床検査部での検査を稼働することができ、行政検査にも尽力いたしました。また、コロナワクチン接種について、行政と積極的な連携を図り、鋭意準備を進めました。
2. 健康診断部門では、令和2年4月の石川県独自の緊急事態宣言に基づく事業休止により、延期となったお客様について、再開後に感染防止対策を徹底し、出張健診では県内外の健診機関との協力体制の構築、施設健診では時間延長や土曜午後の開催、人間ドックでは期間限定の2部制実施等により、基本的には年度内に受診いただくことができました。
3. 臨床検査部門について、令和2年4月に開始した尿検査機器法が学校保健において順調に稼働し、9月には職域健診でも運用拡大を図り、更なる検査精度の維持・向上及び業務の効率化を実現しました。
4. 環境検査部門について、改正食品衛生法に基づく令和2年6月1日の「HACCP導入の義務化」における一年の猶予期間が始まった中、石川県のみならず富山、福井両県でも普及・啓発に向けた講習会を開催するとともに、10月には食品衛生に関するコンサルティングからJFS-A/B規格の監査・適合証明書の発行に至る一連の支援が可能な監査機関に登録され、北陸三県の食品の安全・安心の推進に努めました。

#### <管理部門>

1. 働き方改革の一環として取り組んでいる「健康経営優良法人2021大規模法人部門」について、令和3年3月4日に4年連続となる認定を取得し、上位500法人が認定される「ホワイト500」をいただくことができました。令和2年度は、今まで以上に部署間を超えた協力体制の構築など「楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり」に加え、組織全体で新型コロナウイルス感染対策を展開し、「安全・安心な環境」を推進しました。
2. 新型コロナウイルス関連事業として、石川県の感染症緊急包括支援事業費補助金によるPCR検査機器・検査室の整備、発熱外来として活用可能な特別診察室の新設、飛沫感染防止パネルの設置、自動水栓の増設等、重点的な設備投資を行いました。また、事業休止による事業収入の減少については、雇用調整助成金、持続化給付金等をいただくことができました。
3. 鋭意準備を進めてきました新健康診断基幹システムについて、結果の納期短縮、正確性と生産性・効率化の向上を目的として、完全予約制等の運用構築、インフラ整備等を行い、令和3年4月に稼働しました。
4. 新館建設計画について、健康診断受診者様の定員拡充、施設の快適性等を目的として、所在地の近隣での用地取得(案)、移転(案)での協議において、コロナ禍を踏まえ多角的かつ慎重に議論した結果、出来得る限り現行施設を有効活用する方向性とし、引き続き検討を重ねていくこととしました。

## 1 令和2年度事業実施概要

令和2年度事業の実施状況は表1のとおりです。

職域保健について、大腸がん検診の受診者数は令和元年度並みでしたが、総合健康診断、定期健康診断、人間ドックは、新型コロナウイルスの影響等により、減少しました。

地域保健について、健康診査、がん検診はコロナ

禍で、全体的に大きく減少しました。

学校保健については、コロナ禍、少子化等により、全体的に減少しました。

医学検査については、他の健診機関からの検査受託を継続しました。

環境検査については、コロナ禍により食品検査が減少しました。

表1 健診・検査実施状況

(その1)

△印は減少

No	健診・検査の種類	令和2年度 受診者数・件数	令和元年度 受診者数・件数	増減	増減率	
1	①健康診断部門／職域保健					
2	総合健康診断	36,210	37,959	△ 1,749	△4.6%	
3	定期健康診断	全項目	130,713	131,467	△ 754	△0.6%
4		省略項目	18,838	26,101	△ 7,263	△27.8%
5		小計	149,551	157,568	△ 8,017	△5.1%
6	胃がん検診	29,920	33,339	△ 3,419	△10.3%	
7	大腸がん検診	51,105	50,724	381	0.8%	
8	乳がん検診	9,492	10,635	△ 1,143	△10.7%	
9	子宮がん検診	8,263	8,300	△ 37	△0.4%	
10	生活習慣病検査	28,604	31,838	△ 3,234	△10.2%	
11	感染症検査・予防接種	46,635	43,191	3,444	8.0%	
12	精密検査	13,698	17,587	△ 3,889	△22.1%	
13	特殊健康診断	有機溶剤	9,395	10,570	△ 1,175	△11.1%
14		じん肺	2,954	3,086	△ 132	△4.3%
15		特定化学物質	7,769	7,753	16	0.2%
16		VDT	2,125	2,066	59	2.9%
17		その他	7,781	10,837	△ 3,056	△28.2%
18		小計	30,024	34,312	△ 4,288	△12.5%
19	人間ドック	6,815	7,753	△ 938	△12.1%	
20	健康支援	2,385	3,534	△ 1,149	△32.5%	
21	ストレスチェック	64,914	65,719	△ 805	△1.2%	
22	腸内細菌検査	114,149	117,981	△ 3,832	△3.2%	

(その2)

△印は減少

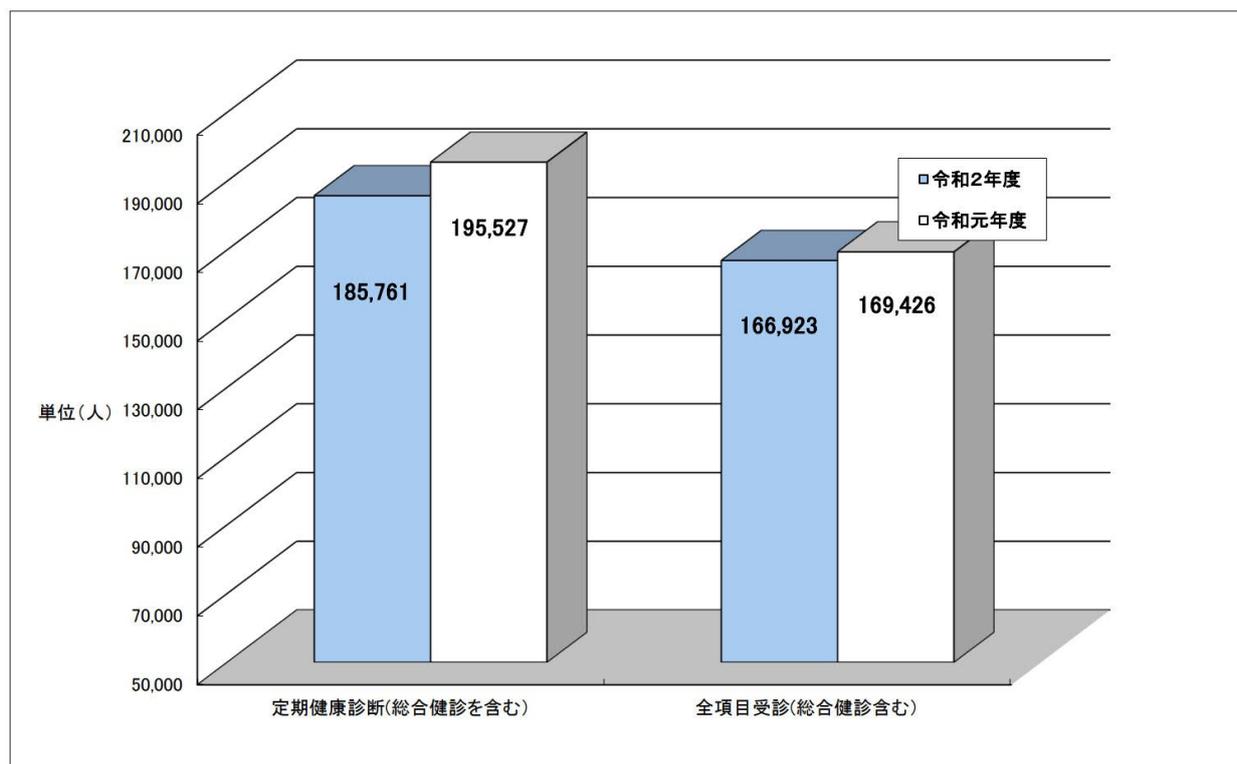
No	健診・検査の種類	令和2年度 受診者数・件数	令和元年度 受診者数・件数	増減	増減率	
23	②健康診断部門／地域保健					
24	健康診査	9,650	17,731	△ 8,081	△45.6%	
25	肺がん・結核検診	X線検査	15,840	25,764	△ 9,924	△38.5%
26		CT検査	234	601	△ 367	△61.1%
27		小計	16,074	26,365	△ 10,291	△39.0%
28	胃がん検診	4,591	7,211	△ 2,620	△36.3%	
29	大腸がん検診	13,315	17,817	△ 4,502	△25.3%	
30	乳がん検診	2,006	3,009	△ 1,003	△33.3%	
31	子宮がん検診	1,681	2,627	△ 946	△36.0%	
32	前立腺がん検診	2,608	4,148	△ 1,540	△37.1%	
33	健康支援・骨密度測定	955	2,015	△ 1,060	△52.6%	
34	③健康診断部門／学校保健					
35	尿検査	142,897	151,425	△ 8,528	△5.6%	
36	寄生虫検査	ぎょう虫	11,144	19,256	△ 8,112	△42.1%
37	学校心電図検査	11,708	12,311	△ 603	△4.9%	
38	学校健康診断	21,044	26,867	△ 5,823	△21.7%	
39	感染症検査・予防接種	9,177	10,255	△ 1,078	△10.5%	
40	④クリニック部門					
41	保険診療	件数	5,920	7,113	△ 1,193	△16.8%
42		点数	9,921,867	10,215,059	△ 293,192	△2.9%
43	⑤臨床検査部門					
44	臨床検査	18,058	22,476	△ 4,418	△19.7%	
45	⑥環境検査部門					
46	食品検査	13,450	16,501	△ 3,051	△18.5%	
47	水質検査	209	128	81	63.3%	
48	簡易専用水道検査	842	841	1	0.1%	
49	作業環境測定	2,493	2,466	27	1.1%	
50	計量証明事業検査	316	359	△ 43	△12.0%	

## 2 職域保健

令和2年度は、健康経営の展開による労働安全衛生法に基づく健康診断の適正な実施及び受診率向上等に取り組んでまいりましたが、コロナ禍で全体的に受診者数が減少しました。

そのような状況の中、感染拡大防止を目的として、内視鏡検査及び呼吸機能検査の一時休止、先行事例として、予約制における受診者様の時間割対応や出張健診会場でのトイレの3密を回避するため、尿検査検体を持ち帰り施設内にて検査を実施する運用への変更等、安全・安心な受診環境の整備に取り組むことができました。

図1 定期健康診断実施状況



### (1) 総合健康診断、定期健康診断

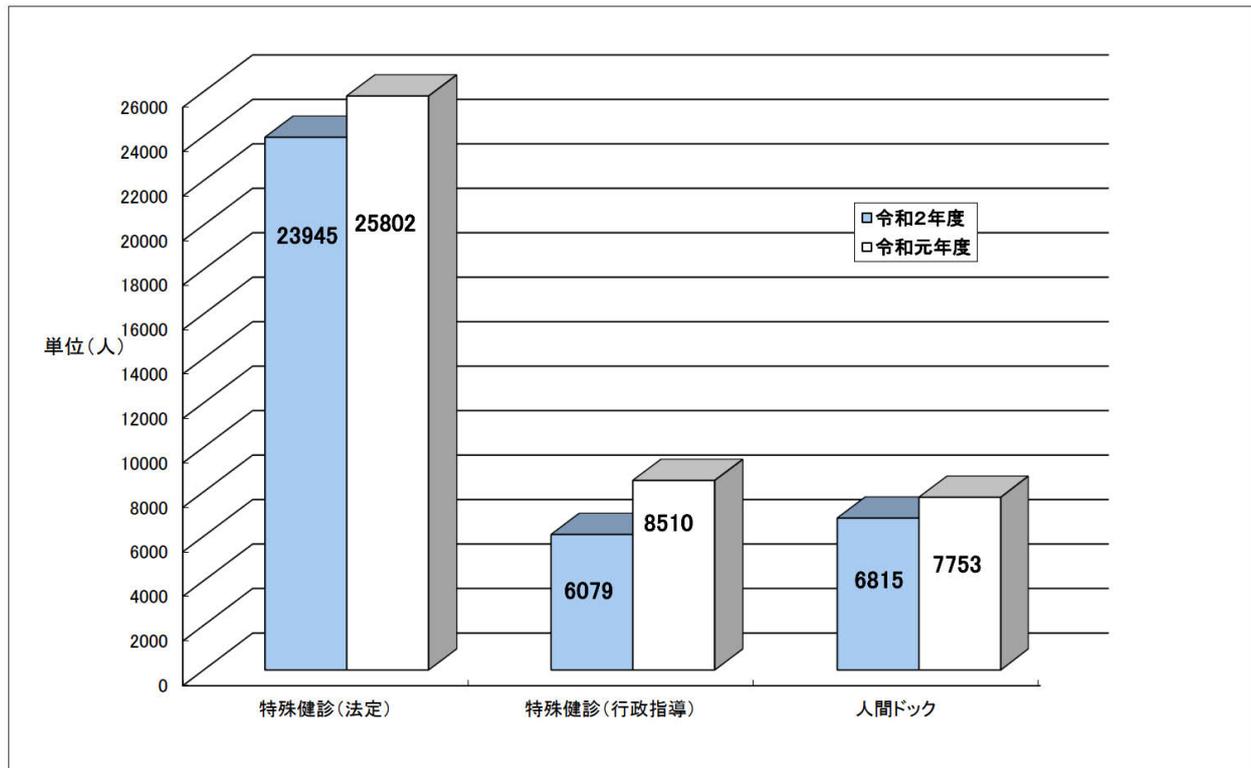
実施状況は図1のとおりです。総合健康診断、定期健康診断を合わせた健康診断の受診者数の合計は、9,766人減の185,761人、心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は2,503人減の166,923人でした。

法定の定期健康診断にがん検診等を加えて実施している総合健康診断は、健康保険組合・共済組合等の助成も多いため、助成制度を有効に利用いただけるよう、出張・外来健診の両方で利用促進に努め

ました。

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断は脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、腎臓病、高血圧症、貧血等の早期発見やリスクの評価には有効な検査内容であり、健康管理の基本的健康診断として広く利用いただいております。総合健康診断は1,749人減の36,210人でした。定期健康診断における心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は754人減の130,713人でした。

図2 特殊健康診断等実施状況



## (2) がん検診

がん検診について、大腸がん検診の受診者数は381人増の51,105人でしたが、胃がん検診は3,419人減の29,920人、乳がん検診は1,143人減の9,492人、子宮がん検診は37人減の8,263人でした。

## (3) 特殊健康診断

実施状況は、図2のとおりです。全体では4,288人減の30,024人が受診され、有機溶剤は9,395人、じん肺健診は2,954人、特定化学物質等の法定特殊健診は7,769人、情報機器作業健診(VDT)等の行政指導特殊健診は2,125人でした。

## (4) 人間ドック

人間ドックについては、内視鏡検査及び内視鏡鎮静剤使用を一時休止した影響等により、938人減の6,815人でした。

## (5) 健康支援

健康支援事業では、全体では1,149人減の2,385人、特定保健指導は344人減の900人でした。

## (6) ストレスチェック

労働安全衛生法改正に基づき平成27年12月1日に施行されたストレスチェックについて、受検者数は805人減の64,914名でした。

### 3 地域保健

行政が特定健康診査、がん検診の受診率向上を大きな目標に掲げる中、令和2年度は全体的に受診者数が大きく減少しました。

コロナ禍で、開催日を縮小された市町が多い中、感染拡大防止を目的として、3密を回避するための受診人数の制限により、安全・安心な受診環境を整え、取り組むことができました。

実施状況は、表2のとおりです。

#### (1) 健康診査

感染拡大防止を目的として、開催日の縮小や受診人数を制限したことで、健康診査の総受診者数は8,081人減の9,650人でした。

#### (2) がん検診

肺がん・結核検診は9,745人減の16,620人、胃がん検診は2,706人減の4,505人、大腸がん検診は4,530人減の13,287人、乳がん検診は783人減の2,226人、子宮がん検診は946人減の1,681人、前立腺がん検診は1,545人減の2,603人、健康支援・骨密度測定は1,060人減の955人でした。

表2 地域保健市町別実施状況

市町村	基本					胸部 X 線		喀痰	胃部	大腸	子宮	乳房	前立腺	マルチCT	骨密度
	若年	特定	後期高齢	その他	国保外	39歳以下	40歳以上								
金沢市		560	53				498	16	499	386		272	107	77	112
小松市	151	347	65	1	33		6,270	134	1,993	6,733	55	54	129	0	
七尾市	72	1,330	438	6	195								1,058		
能美市	235	814		1	223		1,523	30	823	2,340			371	157	0
川北町	27	142			33		249	7	53	332	※2 33	51	106	0	21
野々市市	152	424	3		0		1,024	11							
白山市	274	0	0	0	0								0		
内灘町	185	706	1	6	238		1,033	19	501	944	534	711	318		506
津幡町	170	388	130	3	214	0	743	4	389	726	343	372	24		0
志賀町	11	832	271	0	85		1,484	54					71		
中能登町	18	486	223	10	132		1,033	14		822			207		134
穴水町									0						
輪島市							1,299	16			50	49			
かほく市	280	884		4	213		1,230	15	※1 247	1,004	※3 666	717	212		182
合計	1,575	6,913	1,184	31	1,366	0	16,386	320	4,505	13,287	1,681	2,226	2,603	234	955

※1 かほく市 : 胃ABC検診

※2 川北町 : 子宮33名 内3名HPV検査実施

※3 かほく市 : 子宮666名 内59名HPV検査実施

## 4 学校保健

児童・生徒の健康管理については、心臓検診（心電図・心音図心電図検査）、腎臓病・糖尿病検診（尿検査）、貧血検査、ぎょう虫・寄生虫検査を集団検査として実施しております。これらの検診・検査は、小児期における心臓病・腎臓病・糖尿病・貧血症・感染症等の早期発見や生活指導における情報として活用していただいております。

令和2年度も引き続き更なる精度管理の徹底、

正確・迅速な結果報告に取り組みました。また、令和2年度から導入した全自動尿統合分析装置による、確実な検査・判定システムの、高い精度及び業務効率を考慮した検査体制を構築できました。

### (1) 尿検査

尿検査は、小児期における腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目的としています。令和2年度の受診者数は、8,528人減の142,897人でした。

実施状況は、表3、4のとおりです。

表3 尿検査（腎臓病検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数 *1	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次 陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *2	男	12,040	137	1.14	85	62	24	28.24	0.20
	女	11,376	227	2.00	146	64	41	28.08	0.36
	計	23,416	364	1.55	231	63	65	28.14	0.28
小学校	男	30,119	369	1.23	353	96	62	17.56	0.21
	女	28,922	670	2.32	640	96	116	18.13	0.40
	計	59,041	1,039	1.76	993	96	178	17.93	0.30
中学校	男	15,394	1,151	7.48	1,104	96	126	11.41	0.82
	女	14,972	720	4.81	625	87	76	12.16	0.51
	計	30,366	1,871	6.16	1,729	92	202	11.68	0.67
高等学校	男	14,017	1,308	9.33	1,260	96	132	10.48	0.94
	女	13,551	691	5.10	637	92	63	9.89	0.46
	計	27,568	1,999	7.25	1,897	95	195	10.28	0.71
その他の学校	男	1,727	121	7.01	111	92	19	17.12	1.10
	女	779	43	5.52	36	84	12	33.33	1.54
	計	2,506	164	6.54	147	90	31	21.09	1.24
男 計		73,297	3,086	4.21	2,913	94	363	12.46	0.50
女 計		69,600	2,351	3.38	2,084	89	308	14.78	0.44
合計		142,897	5,437	3.80	4,997	92	671	13.43	0.47

\*1・・・蛋白・潜血併用で、どちらか一方でも±以上の者とする。

\*2・・・保育所・保育園を含む。

表4 尿検査（糖尿病検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数 *1	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次 陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *2	男	12,040	3	0.02	2	67	0	0.00	0.00
	女	11,376	3	0.03	0	0	0	0.00	0.00
	計	23,416	6	0.03	2	33	0	0.00	0.00
小学校	男	30,119	12	0.04	9	75	4	44.44	0.01
	女	28,922	8	0.03	7	88	4	57.14	0.01
	計	59,041	20	0.03	16	80	8	50.00	0.01
中学校	男	15,394	25	0.16	17	68	7	41.18	0.05
	女	14,972	13	0.09	9	69	3	33.33	0.02
	計	30,366	38	0.13	26	68	10	38.46	0.03
高等学校	男	14,017	15	0.11	11	73	1	9.09	0.01
	女	13,551	16	0.12	10	63	4	40.00	0.03
	計	27,568	31	0.11	21	68	5	23.81	0.02
その他の学校	男	1,727	7	0.41	4	57	2	50.00	0.12
	女	779	2	0.26	1	50	0	0.00	0.00
	計	2,506	9	0.36	5	56	2	40.00	0.08
男 計		73,297	62	0.08	43	69	14	32.56	0.02
女 計		69,600	42	0.06	27	64	11	40.74	0.02
合 計		142,897	104	0.07	70	67	25	35.71	0.02

\*1・・・尿糖が+以上の者とする。

\*2・・・保育所・保育園を含む。

## (2) 心臓検診

学校や家庭での心臓病による突然死を防ぐことを目的に、基本的に小中学校1年生には、心音

図心電図検査、高等学校1年生には、心電図検査を専門医に指導いただき実施しております。

実施状況は、表5のとおりです。

**表5 学校心臓検診実施状況**

結果		2020年度（最終報告）				2019年度（最終報告）				
		実施者数 A(人)	精検対象 数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国(%)	実施者数 A(人)	精検対象 数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国(%)	
男	小学校	1年生	317	10	3.15	2.80	349	14	4.01	2.80
		4年生	102	4	3.92		110	8	7.27	
		他学年	3	0	0.00		5	0	0.00	
		計	422	14	3.32		464	22	4.74	
	中学校	1年生	456	19	4.17	3.54	475	26	5.47	3.54
		他学年	4	0	0.00		2	0	0.00	
		計	460	19	4.13		477	26	5.45	
	高等学校	1年生	4,870	189	3.88	3.94	5,273	254	4.82	3.94
		他学年	35	8	22.86		26	8	30.77	
		計	4,905	197	4.02		5,299	262	4.94	
特別学校	225	23	10.22		225	27	12.00			
合計	6,012	253	4.21		6,465	337	5.21			
女	小学校	1年生	334	12	3.59	2.02	308	14	4.55	2.02
		4年生	115	6	5.22		141	10	7.09	
		他学年	7	0	0.00		3	1	33.33	
		計	456	18	3.95		452	25	5.53	
	中学校	1年生	483	20	4.14	2.99	457	19	4.16	2.99
		他学年	3	0	0.00		1	0	0.00	
		計	486	20	4.12		458	19	4.15	
	高等学校	1年生	4,642	106	2.28	2.57	4,817	157	3.26	2.57
		他学年	6	1	16.67		13	3	23.08	
		計	4,648	107	2.30		4,830	160	3.31	
特別学校	106	15	14.15		106	12	11.32			
合計	5,696	160	2.81		5,846	216	3.69			
合計	11,708	413	3.53		12,311	553	4.49			

※精検対象者は、要精密検査者と定期的医療機関受診者

※精検率全国値は、文部科学省の学校保健統計調査2019年度統計表一覧を引用

### (3) 貧血検査

食生活のアンバランスが原因となる鉄欠乏性貧血やその予備群の早期発見と正しい食生活指導のために、耳朶採血法・静脈採血法で貧血検査を実施しております。

重要な検査である貧血検査については、学校保健安全法に定められていないこと及び検査が侵襲的方法であるため実施学校数が少ない現状です。

### (4) 寄生虫検査

平成 28 年度から学校保健安全法が改正され、ぎょう虫検査につきましては、任意項目となりました。令和 2 年度の実施件数は、8,112 件減の 11,144 件でした。

実施状況は、表 6 のとおりです。

表 6 寄 生 虫 検 査 実 施 状 況

結果 区分	2 日法			4 日法		
	実施者数*1	保卵者数	保卵率	実施者数*1	保卵者数	保卵率
	A (人)	B (人)	B/A(%)	A (人)	B (人)	B/A(%)
幼稚園 *2	4,223	0	0.00	6,845	2	0.03
その他の学校	76	0	0.00	0	0	0.00
合 計	4,299	0	0.00	6,845	2	0.03

寄生虫実施なし

\*1・・・同一学校で年 2 回実施している場合は、延べ数で集計した

\*2・・・保育所・保育園を含む

## 5 医学検査

令和2年度も健診、ドック、クリニックの検体検査において、精度の維持向上を基本とし、お客様が満足できるサービスの提供に貢献する検査体制の構築に取り組みました。臨床検査部では、新型コロナウイルス検査法の立ち上げ、全自動尿分析装置・採血管自動開栓装置の導入に取り組みました。令和2年度臨床検査部で実施した検査は、表7のとおり合計3,258,481件で、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての検査実施数が減少しました。

遺伝子関連・染色体検査のうち、10月開始の

新型コロナウイルス検査PCR法にて912件を実施しました。

検査の外部委託件数は14,735件、主に尿中代謝物検査でした。

一般臨床検査のうち、学校検尿検査147,965件、ぎょう虫卵検査11,072件(前年度比57.7%)を実施しました。大腸がんは対前年度7,113件減の68,701件を実施しました。また、ノロウイルス検査は、対前年度48件増の1,003件を実施しました。

表7 検査実施状況

△印は減少

検査別	令和2年度	令和元年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
尿・糞便等一般検査	173,471	186,508	△13,037
血液学的検査	570,421	624,191	△53,770
遺伝子関連 ・染色体検査	211,275	217,596	△6,321
免疫学的検査	90,200	128,952	△38,752
生化学的検査	2,117,664	2,308,648	△190,984
大腸がん検査	68,701	75,814	△7,113
病理学的検査	12,014	13,370	△1,356
その他の検査	14,735	15,683	△948
合計	3,258,481	3,570,762	△312,281

**表8 石川県成人病予防センター検査実施状況**

△印は減少

検査別	令和2年度	令和元年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
一般臨床検査	2	9	△7
血液学的検査	16,663	16,726	△63
血清学的検査	774	1,362	△588
臨床化学的検査	17,066	16,954	112

**表9 検査実施状況**

△印は減少

検査別	令和2年度	令和元年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
SS	107,292	110,981	△3,689
EHEC	100,734	104,237	△3,503
O157	1,334	1,423	△89
腸内細菌検査計	209,360	216,641	△7,281
ノロウイルスリアルタイムPCR法	1,003	955	48

## 6 環境検査

環境検査部門では、HACCP 導入支援事業におきまして、食品安全マネジメント規格「JFS-A/B 規格」の監査機関に登録されました。これにより、食品衛生に関するコンサルティングから JFS-A/B 規格の監査及び適合証明書の発行に至る一連のご支援が可能となりました。HACCP の普及推進を目的とした HACCP 講習会は、石川県のみならず富山、福井両県でも開催に努め、北陸三県の食品等事業者様に理解を深めていただきました。昨年度に引き

続き、石川県食品衛生協会様が主催する飲食店営業者、食肉販売業、水産物小売業の各事業者様向けの「ステップアップ衛生管理セミナー」、石川県食品協会様主催の「JFS 規格解説、導入事例セミナー」や新たに石川県調理師会様、富山、福井両県の農林水産部様や富山県食品産業センター様からもご依頼をいただきました。

今後も、精度の維持向上、業務の効率化、お客様に有用な検査の立ち上げ等に努めてまいります。

令和 2 年度の環境検査事業実施状況につきましては、表 10 のとおりです。

**表 10 環境検査事業実施状況**

△印は減少

検査内訳	令和 2 年度	令和元年度	対前年度比増減件数
食品検査	13,450	16,501	△3,051
水質検査	209	128	81
簡易専用水道	842	841	1
作業環境測定	2,493	2,466	27
計量証明事業	316	359	△43
合計	17,310	20,295	△2,985

## (1) 食品検査

全体の検査件数は3,051件減の13,450件でした。検査体制では、標準作業書（SOP）の改訂、信頼性確保部門が計画する外部精度管理の参加及び結果の検証、食品衛生登録検査機関協会主催の研修会への参加及び信頼性確保部門による内部点検等により、精度管理の徹底に取り組みました。また、ISO17025において、理化学検査のナトリウムについて拡大審査を受け認定を取得し、検査精度の向上を図りました。

衛生検査につきましては、食品衛生法の一部改正によるHACCP制度化が令和3年6月に控えていることもあり、4年目を迎えたHACCP導入支援事業が前年度からの継続支援も含めて43社となり、そのうち5社は、JFS規格、FSSC22000といった高度な食品安全規格の認証を取得されました。また、石川県をはじめ、富山、福井両県の行政関連機関や食品関連団体と連携し、HACCP普及推進に関する講習会を27回（前年度比103%）開催することができました。

食品検査実施状況は表11のとおりです。

表11 食品検査（項目別）実施状況

△印は減少

項目分類	令和2年度	令和元年度	対前年度比 増減件数
細菌検査	7,667	9,005	△1,338
衛生検査	3,117	4,224	△1,107
理化学検査	1,033	1,317	△284
有害物質検査	673	700	△27
規格検査	508	591	△83
異物検査	147	158	△11
輸入食品検査	46	61	△15
放射性物質検査	128	290	△162
その他検査	88	103	△15
HACCP導入支援業務	43	52	△9
合計	13,450	16,501	△3,051

## (2) 水質検査

検査件数は 81 件増の 209 件でした。水質検査につきましても、検査対応できる細菌検査を実施しました。

水質検査実施状況は表 12 のとおりです。

表 12 水質検査実施状況

水質検査	令和 2 年度	令和元年度	△印は減少
			対前年度比 増減件数
細菌検査	209	128	81

## (3) 簡易専用水道検査

全体の検査件数は 1 件増の 842 件（現場検査：704 件、書類検査：138 件）でした。精度管理について、全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査で、最上位の S ランクを維持できました。また、全国給水衛生検査協会主催の研修会への積極的な参加、信頼性確保部門による内部監査の定期的な実施により、精度の向上に努めました。

## (4) 作業環境測定

全体の検査件数は 3 件増の 2,436 件でした。監督官庁の行政指導が強化されたことや事業者様の新工場設立などにより、事業者数及び作業場数が共に増加しました。また、『作業環境測定士からのアドバイス』の報告書への添付を継続した結果、施設の不具合、労働者様の意識、有害物質の発散状況の気付きなど、多くの改善に繋げることができました。

作業環境測定の実施状況は表 13 のとおりです。

表 13 労働安全衛生法第 65 条に基づく定期作業環境測定実施状況

測定対象事業場		事業所数	作業場数	延単位作業場の管理区分		
				第一管理区分	第二管理区分	第三管理区分
鉱物性粉じん	石綿以外	62	364	287	36	41
特定化学物質		136	583	527	36	20
金属類	鉛	3	3	3	0	0
	鉛以外	18	116	114	1	1
有機溶剤		177	720	593	90	37

## (5) 計量証明事業

全体の検査件数は15件減の301件でした。

計量証明事業の実施状況は表14のとおりです。

**表14 計量証明事業実施状況**

△印は減少

検査分類	令和2年度	令和元年度	対前年度比 増減件数
大気測定	277	272	5
その他(計量対象外等)	24	44	△20
合計	301	316	△15

## 7 総務事項

### (1)理事会開催状況

#### 令和2年6月期定例理事会（書面決議）

令和2年6月2日(火)

##### 第1号議案

令和元年度事業報告(案)について

##### 第2号議案

令和元年度決算(案)について

##### 第3号議案

令和元年度公益目的支出計画実施報告(案)  
について

##### 第4号議案

令和2年度借入限度額(案)について

第1～4号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

##### 報告事項1

事業休止及び新型コロナウイルスの感染防止  
対策等の報告

##### 報告事項2

今年度（令和2年度）事業の今後の見通し

#### 令和3年3月期定例理事会（通常開催）

令和3年3月9日(火)

##### 報告事項1

令和2年度決算予想について

##### 報告事項2

新型コロナウイルス PCR 検査の実施状況に  
ついて

##### 報告事項3

新型コロナワクチン接種計画について

##### 第1号議案

令和3年度事業計画(案)について

##### 第2号議案

令和3年度収支予算(案)について

第1～2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

### (2)評議員会開催状況

#### 令和2年6月期定例評議員会（書面決議）

令和2年6月28日(金)

##### 第1号議案

令和元年度事業報告(案)について

##### 第2号議案

令和元年度決算(案)について

##### 第3号議案

令和元年度公益目的支出計画実施報告(案)  
について

##### 第4号議案

令和2年度借入限度額(案)について

第1～4号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

##### 報告事項1

事業休止及び新型コロナウイルスの感染防止  
対策等の報告

##### 報告事項2

今年度（令和2年度）事業の今後の見通し

#### 令和3年3月期定例評議員会（通常開催）

令和3年3月24日(水)

##### 報告事項1

令和2年度決算予想について

##### 報告事項2

新型コロナウイルス PCR 検査の実施状況に  
ついて

##### 報告事項3

新型コロナワクチン接種計画について

##### 第1号議案

令和3年度事業計画(案)について

##### 第2号議案

令和3年度収支予算(案)について

第1～2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

## 8 啓発活動報告

公益活動の一環として、乳がん「かなざわピンクリボンプロジェクト」に前年度まで参画していましたが、新型コロナウイルスの影響等により令和2年度は実施が見送られました。

## 9 学会発表状況

### 第61回日本人間ドック学会学術大会

日時：令和2年11月26日(木)～27日(金)  
会場：横浜（オンライン開催）  
内容：ドック当日の特定保健指導未実施者の未実施理由と次年度の結果について  
発表者：木村 亜耶（オンライン発表）

### 第28回日本乳癌学会総会

日時：令和2年10月9日(金)～31日(土)  
会場：Web開催  
内容：低線量肺がんCT検診で指摘された乳房病変に関する検討  
発表者：古河 浩之（ポスター発表）

## 10 会議・研修実施状況

### ◇ 各種学会関係

#### 第117回日本内科学会講演会

8月7日 オンライン

#### 第120回日本外科学会定期学術集会

8月13日～15日 オンライン

#### 日本消化器内視鏡学会総会

9月2日～3日 オンライン

#### 日本乳癌学会中部地方会

9月12日～13日 オンライン

#### 第45回日本乳腺甲状腺超音波医学会

9月19日～20日 オンライン

#### 日本大腸肛門病学会 第29回教育セミナー

10月8日 オンライン

#### 第59回日本消化器がん検診学会総会、第44回日本消化器内視鏡学会セミナー

10月8日 オンライン

#### 第5回胃がん検診専門技師研修会

10月18日 オンライン

#### 第60回人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会

11月5日 オンライン

#### 肺がんCT検診認定技師資格更新講習会

11月5日 オンライン

#### 第30回日本乳癌検診学会学術総会、学術集会

11月22日～31日 オンライン

#### 第61回日本人間ドック学会学術大会

11月26日～27日 オンライン

#### 産業医講習会 基礎

12月17日 金沢市

#### 第45回日本超音波検査学会学術集会

12月19日～20日 オンライン

#### 第137回医用超音波講義講習会

12月25日～26日 オンライン

#### 第138回医用超音波講義講習会

1月23日～24日 オンライン

◇ 日本作業環境測定協会関係

IRCA 認定 ISO2200 : 2018 審査員移行トレーニングコース

12月14日～15日 オンライン

◇ 食品衛生指定検査機関関係

日本製菓 無料セミナー全3タイトル①ATP+ADP+AMP ふき取り検査による衛生管理②食品微生物検査の課題③食物アレルギーの基礎知識

1月14日～3月18日 オンライン

令和2年度 器具・容器包装研修会

2月10日 オンライン

令和2年度 理化学検査研修会

2月12日 オンライン

令和2年度 業務管理研修会

2月18日 オンライン

令和2年度 微生物研修会

2月25日 オンライン

令和2年度 栄養成分研修会

3月16日 オンライン

◇ 労働基準協会関係

奥能登地区労働基準協会健康診断事務連絡会

7月14日 能登町

七尾労働基準協会健康診断実施連絡会議

2月2日 七尾市